

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 3 年 12 月 9 日 (2021.12.9)

【公開番号】特開 2019-162352 (P2019-162352A)
【公開日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)
【年通号数】公開・登録公報 2019-039
【出願番号】特願 2018-52859 (P2018-52859)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 28 日 (2021.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気配線を案内可能な案内経路の少なくとも一部に前記電気配線が通過可能に構成される開放部を有する複数の構成手段と、前記複数の構成手段から前記開放部側へ張り出す複数の張出部とを備え、

前記電気配線は、前記構成手段に対して相対移動可能に構成される移動手段に接続され

、
前記複数の構成手段は、それぞれが前記電気配線と接触し得るよう構成され、
前記張出部は、前記電気配線が前記案内経路から外れることを防止可能に構成され、
前記構成手段は、樹脂材料から構成されることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

電気配線を備える遊技機がある（特許文献 1）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 1 2 - 1 5 7 4 7 4 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、電気配線の配置の観点で改善の余地があるという問題点があった。本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、電気配線の配置を改善することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、電気配線を案内可能な案内経路の少なくとも一部に前記電気配線が通過可能に構成される開放部を有する複数の構成手段と、前記複数の構成手段から前記開放部側へ張り出す複数の張出部とを備え、前記電気配線は、前記構成手段に対して相対移動可能に構成される移動手段に接続され、前記複数の構成手段は、それぞれが前記電気配線と接触し得るよう構成され、前記張出部は、前記電気配線が前記案内経路から外れることを防止可能に構成され、前記構成手段は、樹脂材料から構成される。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1記載の遊技機によれば、電気配線の配置を改善することができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1035】

遊技機 A 1 から A 7、B 1 から B 10、C 1 から C 8、D 1 から D 8、E 1 から E 6、

F 1 から F 8、G 1 から G 8 及び H 1 から H 7 のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機 K 3。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

< その他 >

内レール部材が遊技領域の左側部において一般入賞口から零れた遊技球の転動面を構成する遊技機がある（特許文献 1：特開 2 0 1 1 - 2 2 9 6 8 6 号公報）。

しかしながら、上述した従来の遊技機では、遊技領域を流下する遊技球に注目させることが困難であるという問題点があった。本技術的思想は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、遊技領域を流下する遊技球に注目させることができる遊技機を提供することを目的とする。

< 手段 >

この目的を達成するために技術的思想 1 の遊技機は、遊技球が当接可能に構成され、当接している遊技球の流下経路を構成する流下手段を備え、その流下手段は、遊技領域側へ突設される突設部を備える。

技術的思想 2 の遊技機は、技術的思想 1 記載の遊技機において、前記突設部は、遊技球が前記流下手段に着地する際に当接する着地範囲の下流側に設けられる。

技術的思想 3 の遊技機は、技術的思想 1 又は 2 に記載の遊技機において、前記突設部は、前記流下手段の上流側から接近する遊技球に対して押し戻す方向に生じさせる反発力に比較して、前記流下手段の下流側から接近する遊技球に対して押し戻す方向に生じさせる反発力の方が大きいように構成される。

< 効果 >

技術的思想 1 記載の遊技機によれば、遊技領域を流下する遊技球に注目させることができる。

技術的思想 2 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 記載の遊技機の奏する効果に加え、突設部が破損することを防止することができる。

技術的思想 3 記載の遊技機によれば、技術的思想 1 又は 2 に記載の遊技機の奏する効果に加え、遊技球が当接する側に対応して反発力を変更することができる。